

特集：地域の力—千葉に学ぶ地域活性化のヒント

## 第5章 千葉県内商工団体との連携強化 —「創業」, 「事業承継」セミナーで 関係性を構築



川村 浩司  
千葉県中小企業診断士協会

### 1. 営業機能として創設された地域振興部

千葉県中小企業診断士協会（以下、千葉県協会）は、今まで経営改善計画策定支援について成果を上げてきている。診断士の能力である「診る」、「聞く」、「話す」、「書く」の4要素のうち、「診る」である経営改善計画策定支援の次の段階として、「話す」=セミナーの受託ができるように活動をしてきた。

地域振興部は私を含めて4名の理事で構成。この4名の理事と千葉県協会のもう1つの営業機能である経営支援部の担当理事などと協働を図り、県内支援機関である商工会と商工会議所への担当営業を決めて対応している。

受託するセミナーの範囲は、創業者から事業承継を必要とされる先まで幅広く対応できるようにテーマの設定を行っている。もちろん、トピックス的なテーマである小規模事業者持続化補助金など、事業者が興味を持つテーマなども用意している。

### 2. 県内商工会と商工会議所の動向

#### (1) 経営発達支援計画の承認動向

千葉県には40の商工会と21の商工会議所が存在する。商工会地区については、千葉県商工会連合会が音頭を取り、40商工会一括で経営発達支援計画の承認を得ている。小規模事

業者支援に特化した対応の展開を行っている。

一方、商工会議所については、経営発達支援計画の承認を受けている先と、まだ承認を受けていない先でばらつきがある。

担当営業制とした結果、商工会議所からの経営発達支援計画の相談なども地域振興部を中心に、千葉県協会として対応する流れをとった。経営発達支援計画の策定支援などを介して、千葉県協会のPRをうまく行ってきた。

#### (2) セミナーに対するニーズ

千葉県協会として組織的に行動した結果、さまざまなものが見えてきた。

支援機関である商工会・商工会議所へは、セミナー講師を派遣する民間企業が出入りしている。民間企業は診断士以外の方が話題のネタを、独自の経験をもとに講演をされているケースが多い。我々診断士も対応できる内容かもしれないが、属人的な能力や経験則に基づくテーマのセミナーも多いことがわかった。そこでまずは、診断士として中小企業者と継続的にかかわれるテーマに絞り込み、商工会や商工会議所にPRを行うこととした。

#### (3) 「中小企業診断士の日」や対外的な協会イベントを活用したPR活動

2016年から実施している「中小企業診断士の日」のイベントを利用して、支援機関へ千葉県協会として対応が可能なセミナーのチラシ配布を行っている。直近では本年3月9日

の千葉県協会のイベントで、最新のテーマを5分間だけ披露しPRを行った。この最新テーマは後述するが、「3. 人材育成と今後の課題」で行った千葉県協会の会員が各自持っているコンテンツを披露した。

### 3. 人材育成と今後の課題

#### (1) セミナー講師発掘プロジェクトとセミナーコンペの開催

2017年7月に、千葉県協会ではセミナー講師として活躍している会員と協働で、セミナー講師発掘プロジェクトと呼ばれる育成講座を開催した。目的は、受注できるセミナーの範囲の拡張と講師の発掘である。

セミナー講師発掘プロジェクトに参加した千葉県協会の会員に対して、次の点を習得していただいた。セミナーでの立ち居振る舞いや話し方、創業塾などの連続したかかわりを持つ必要がある講習会や研修会などで役立つアイスブレイクなどである。

その後、一定の時間を空け、セミナー講師発掘プロジェクトへ参加した会員を中心として、公募でセミナーコンペを開催。公開イベントを基本とし、千葉県協会の会員であればコンペはもちろん、審査員としても参加できる流れを作った。

コンペ参加者で審査結果が上位の方のコンテンツは、営業部隊の地域振興部が各支援機関に売り込みを行う形をとった。

#### (2) 会員マイページ登録の推進

セミナー講師発掘プロジェクトの副次的な効果では、参加者の何名かが独自で支援機関のセミナーを受注する成果が出ている。

今後は、コンテンツ開発をした会員の許諾が前提となるが、千葉県協会として支援機関に営業をかけるための情報収集策として、会員マイページに対応したセミナーのテーマや講演実績・診断実績などを記入していただくようお願いしたい。これにより、千葉県協会内での継続したコンテンツ発掘と講師陣容の拡張を目的とした行動ができると考えている。

### 4. 成果について

地域振興部は発足2年目の部門になる。平成29年度の成果としては以下のとおり。

- ・セミナー：テーマは経営分析、事業承継、経営力向上計画、経営計画作成、RESAS活用など15件、14支援機関から受託している。
- ・創業塾：バイキング形式の創業セミナーなど11件、8支援機関から受託している。
- ・研修会講師：商工会連合会の指導員・補助員の研修会を受託している。
- ・調査事業：地域経済動向調査やカタログギフト導入調査を行っている。
- ・相談案件など：支援機関が行う消費税転嫁対策訪問事業などを受託している。



講師発掘セミナーの様子

#### 川村 浩司

(かわむら こうじ)

2009年中小企業診断士登録。県内地方銀行と卸売業の財務担当役員を経験後独立。現在は経営改善計画の策定や経営革新計画、補助金の申請などを主に対応している。また、民間のセミナー講師派遣会社にも登録し、今まで230件ほどのセミナー講師としての実績がある。

